

多文化関係学会 2019年度 第4回理事会

日時：2020年3月13日（金）10時～12時

場所：オンライン開催（LINE）

出席者 田中、内藤、武田、宇治谷、田崎、河野、出口（敬称略、順不同）

欠席者 金本、松井、小坂、馬場、畠中、江藤、岡村、小林、岡部、湊（委任状あり）

議事録作成：出口朋美

議事次第

1. 報告事項

（1）事務局長からの報告

- ・現時点での会員数は、正会員 243 名、シニア 4 名、学生 64 名、合計 311 名。
- ・アクセライトからの見積もり、合計 4 万 6 千円増。会員の移動報告分の増額。

（2）各種委員会からの報告

- ・財務、ウェブ管理&広報、選挙管理、北海道・東北地区研究会、中国・四国地区研究会、九州地区研究会、特に報告なし。
- ・紀要は締め切り延長を周知予定。
- ・ニューズレター委員会は次のニューズレターの原稿依頼予定。コロナウィルスの影響で開催されていない研究会が多いので内容を検討する。一案として若手の会について会員に案内する。5月7日締め切り予定
- ・関東地区研究会 2月15日（土）、11名の参加あった。「多文化に生きる児童・生徒のケア」というタイトルで熊本エリザ先生の講演、ディスカッションが行われた。
- ・中部・関西地区研究会はコロナウィルスで中止。延期で開催予定。

（3）2019年年次大会報告

- ・会員 67 名、非会員 34 名、合計 101 名の参加があった。発表者 21 名（研究発表 17 名、ポスター 2 名、辞退者 2 名）。収入 752,100 円 支出 749,048 円であった。

（4）20周年記念事業について

- ・特になし

（5）第19回（2020年）年次大会についての報告

- ・10月25日・26日に開催を希望しているが、開催校の近畿大学のスケジ

ルールが未定なため現在正式決定ではない。プレカンファレンスは朝鮮学校とコリアタウンを訪問することが検討されている。基調講演は日程が決定されてから依頼予定。

2. 審議事項

(1) 紀要投稿規程改案および基調講演の論文化について

- ・ 基調講演を掲載する場合、投稿論文の掲載本数とのバランスを考慮されなければならないことが指摘された。また、論文誌の電子化とともに議論されるべきであるため、同時今後、下記(3)で提案された課題解決WGにて、関連委員会が検討していく。

(2) 文書の暗号化について

- ・ 個人情報に関しては基本的にはパスワードをかけるが、詳細に関しては個人の判断に任せることが承認された。

(3) 多文化関係学会学術の質向上WGミーティング

- ・ 課題解決のために、多文化関係学会学術の質向上WGミーティングの立ち上げが承認された。

(4) その他

- ・ 理事会と臨時総会の開催がコロナの影響で開催できるかどうか未定。臨時総会に関しては、予算の承認が必要なので、もし開催できなかった場合は理事会の仮承認で執行できるようにし、次回の総会で本承認を行ってもらうことが決定された。
- ・ 次回の理事会のリクルートを委員会ごとにしていく。

*2020年度第1回理事会(2020年6月開催、場所未定)

以上。